米之宮浅間神社 社

米之宮浅間神社

四一六-〇九〇六 静岡県富士市本市場五八二

〇五四五-六一-〇八一七

発行日 令和二年九月一日

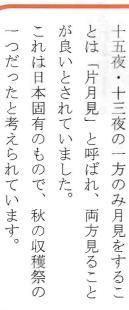
秋の実りを願って

今年は梅雨の長雨による、作物の出来が心配されますが、実 災された方々の心と生活に平穏が戻ることを願っています。 今夏、全国各地で発生した豪雨において被災された方々に衷 お祭りが全国で行われます。 りの季節である秋には、収穫物を神様にお供えし、 心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復興と、 感謝する 被

祭りは、 今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、神賑行事等 育てになった新穀をお供えされ、 めて行われる新嘗祭にあたる御一代一度の「大嘗祭」が行わ 全国の神社で行われます。昨年は、天皇陛下御即位の後、 神々にお供えし、恵みに感謝する「新嘗祭」が、宮中並びに 十一月二十三日の勤労感謝の日には、その年に取れたお米を の規模の縮小の検討が余儀なくされていますが、 家・国民の安寧を祈念し、五穀豊穣を感謝されました。 れたのは記憶に新しいことでしょう。天皇陛下はみずからお 神様への感謝の気持ちを忘れずに、 感染症予防対策を行った上で、粛々と斎行していま 御自身も召し上がり、 個々でお参り戴けま 神社でのお 初

お月見

中秋 えます。 この時期に収穫された里芋を供えること 今年は十月一日が中秋にあたりますが、 りますが、この時期食べ頃の栗や豆を供 とも呼ばれ、今年は十月二十九日にあた ます。十三夜は「栗名月」や「豆名月」 中秋の名月の次に美しい月と言われてい 暦九月十三日) の月を「後の月」といい また、中秋の名月に対して、十三夜(旧 から「芋名月」と呼ぶ地方もあります。 月に一番良い時期とされ、月見団子や神 酒をお供えして月を眺めて楽しみます。 (旧暦八月十五日)の夜は昔から観





Тi

んでした。 つかどうか 医療技術の乏しかった昔は、 「七つまでは神の子」という言葉が表すように、 は、 神様にお任せするしかありませ 乳幼児が無事に育

七五三は、

古く

からの

風

習

(

あ

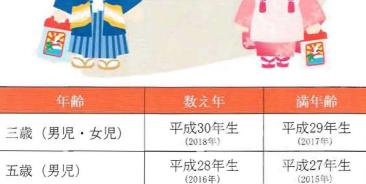
る三

歳

0

髪置

守って下さった氏神様やご先祖様にお参りをし ことを家族でお祝いしてきました。 成長をお祈りしましょう。 て感謝の気持ちを表し、 刈り後の頃に、 由来しているといわれ、 五歳の 子供が無事に育つことができた 「袴着」 これ 江戸時代頃より秋の稲 年齢 満年齢 数え年 七歳 からの健やかなる 平成30年生 平成29年生 三歳(男児・女児) (2018年) (2017年) 0 これまで見 平成28年生 平成27年生 帯 (男児) 五歳 (2016年) (2015年 平成26年生 平成25年生 七歳 (女児) (2014年) ※数え年:生まれた年を一歳として、以降正月になると一歳加える。



神 知

きませんか。 て社殿の形式が異なっていることに気づ 各地の神社にお参りすると、 神社によっ

際にはぜひ、 や浅間造などがあります。 派生した住吉造や春日造、 から派生した流造や八幡造、 れる建物は出雲大社で、 に代表される建物は伊勢の神宮 形から派生した「大社造」です くその様式を二つに分けることが出来、 様々な種類の建物が存在 神明造と言います) 「神明造」 見比べてみて下さい 高床式の穀物蔵 その社殿の形 もう つは古代の住居の その他、 大社造に代表さ 0 しますが、 神社に訪れた 0 形から発達し 大社造から 違い 他権現造 神明造 神明造



П

『日本書紀』に見る斎庭稲穂の神勅

る年。 仰られ、 でしょう。 陛下もみずからお育てになり、 きました。 こうしてお米は我が国の主食となり、 0 治者とされるにあたり、 天照大御神 (国 ます。 我が国のはじまりの歴史に触れてみてはいか その一つが斎庭稲穂の神勅で で耕す 改めて稲作の歴史とその大切さを学ぶととも 高天原で作られていた稲を与えられました。 今年は 今でも神社ではお米がお供えされ、 は 皇孫の瓊瓊杵尊を地上の葦原中国 斎庭の稲穂をわが御子に授けます」 『日本書紀』 幾つかのお言葉を授けま 編纂千三百年にあ 新嘗祭でお供えされ 「私が高天原 大切にされ 天皇 0)

1) 七五三の歴史や社殿などの説明は神社本庁 たい場合は神社本庁のHPをご覧下さ HPで紹介しています。 詳しい情報を知



いかがでしょうか。 いつもより神さまに近い場所で、 平癒·心願成就·地鎮祭·竣工祭·自 様々なご祈願を受付けています。 安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病気 り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行 」祈願についてのお問合せは米之宮浅間神社まで 社では、 家内安全·身体健全·商売繁盛·初宮参 願意を届けてみては 動車清祓など

〇五四五-六一-〇八二九(FAX)

連絡先

☎○五四五-六一-〇八一七